

科目名	総合教養(現代経済)		
担当者	谷岡 弘二		
学年	1	単位	2
クラス	全学科		
開講年度学期	2016年度 Ⅲ学期～Ⅳ学期		
授業の目標(到達目標)	総合科目では、自己を豊かにするための幅広い社会的教養を身につけるために、最新の多様な情報に触れつつ、社会の動向を知り、多面的なものの考え方をすることを目標とする。また女性としての視点も交えながら各分野に関連する時事的問題を随時取り上げ、一般常識を身につける。 具体的には、短大生に求められる教養的な素養を高めるため、女性としての視点も取り入れつつ時事問題に関する事柄の解説にも重点を置いた授業を予定している。このような授業を行うことにより、短大生として当然に習得しているとされる、基本的かつ一般的な教養のうち、いわゆる現代の経済に関する知識や素養を一定のレベルまで高めることを授業の目標とする。		
授業内容	授業の目標に示したように、必要に応じて現代経済に関する時事問題等も取り上げるが、それらを理解する前提として、経済に関する基本的な用語や経済学に関する極一般的な知識についてまず解説する予定である。授業のレベルとしては、高等学校レベルの経済に関する事柄の知識(いわゆる「公民」の経済に関すること)と用語等についてまず再確認することを考えている。 このような基本的知識をを前提として、現代の経済に関することの中でも特に重要とされる貿易の利益について中心的に学ぶ。また極簡単にではあるが、GDPや国際収支等についての計算問題に関する演習等も行う。計算を苦手とする者もあると思われるが、社会一般の話題を理解するうえで求められる知識の1つであることを理解されたい。		
授業計画	1. 授業の概要の説明 GDPの三面等価について(GDP・GNPとは) 2. GDPの三面等価について(名目GDPと実質GDP) 3. 貯蓄と投資のバランスについて 国の借金と貿易黒字について 4. 企業の赤字と貿易赤字の違い 5. 国際収支表について 貿易黒字と貿易赤字の意味 6. 経済成長と貿易黒字 不況で貿易黒字が増える理由 7. リカードの「比較優位論」(貿易の必要性その1) 8. リカードの「比較優位論」(貿易の必要性その2) 9. 貿易の利益について(その1) 10. 貿易の利益について(その2) 11. 貿易に関する絶対優位と比較優位(その1) 12. 貿易に関する絶対優位と比較優位(その2) 13. 実際に数値を用いた貿易の利益の検証 14. 貿易の利益について各自が設例を考える 15. 授業の総括		
成績評価	【成績評価基準】 経済に関する基本的な用語や貿易の利益に関する基本的な知識を習得すること。また、まじめに授業に取り組むこと。 【成績評価方法】 定期試験60% 授業への取り組み・課題40%		
他の科目との関係等学習上および履修上の注意点			
経済に関する基本的な知識は、一般的な教養のひとつである。直接他の科目の学習にかかわるものではないが、考える力を身に付ける上で役に立つものである。当然のことではあるが、前の授業の内容が次の需要に用いにかかわるので授業には必ず出席することが求められる。			
教科書			
書籍名	著者	出版社	出版年
高校生からわかるマクロ・ミクロ経済学	菅原晃	河出書房新社	2013年

参考文献			
書籍名	著者	出版社	出版年
その他			
授業中の私語や携帯電話は禁止。途中退室時は必ず谷岡の許可を得ること。事前に教科書をある程度読み込んでおくことが望ましい。			